

# 協働の森パートナーズ協定

## 交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。  
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with  
Environmentally Progressive Companies.

協働の森パートナーズ協定については  
高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：矢崎総業（株）様、（一社）四国クリエイティブ協会 様  
日本道路（株）様、（株）建設マネジメント四国 様  
開催場所：梶原町九十九曲峠町有林  
「“もったいない” 未来に夢をつなぐ森」（矢崎の森）  
開催日：令和元年5月12日（日）  
参加者数：285名（協定企業・関連会社の社員やご家族、地元ボランティア、  
四国森林管理局・四万十森林管理署・高知水源林整備事務所・  
高知県須崎林業事務所の職員等）



令和元年5月12日（日）に、元号が令和となって初の協働の森づくり事業の交流活動が梶原町で行われました。この催しは「梶原町森林ボランティア協働の森づくり事業」と称し、梶原町とパートナーズ協定を結んでいる複数の企業が、合同で交流活動を行っています。

今回は過去最多の総勢285名にご参加いただきました。日本各地や海外は台湾・香港からもお越しいただきました。

### <開会式の様子>



開会式では町長（吉田尚人氏）、森林づくり会議会長（土釜清氏）、来賓の皆様からご挨拶がありました。



開会式の最後に記念植樹が行われました。今回はヤマボウシを2本植樹しました。

開会式の後には、いよいよ森林整備の作業です。

この山は広葉樹の森で、様々な種類の木があります。木が成長して混み合い、地表が暗くなっていたので、適度に木を伐採し、光が地表に十分届くようにします。食べられる植物や危険な植物の説明を聞いた後、ノコギリを携えて森林に入ります。

息を切らしながら黙々と大きな木を切る方がいれば、いろいろな種類の小さな木を切る方もいて、仲間と楽しみながら、気持ちの良い汗を流しました。

また、森林セラピーロードを散策したり、山菜採りなどもして、山での時間を自由に過ごしました。



小さなお子さん達も頑張って木を切りました。  
楽しい経験になったようです。



森林整備の作業の後は、毎回恒例のじゃんけん大会が行われ、とても盛り上がりました。景品は栲原町の特産品です。景品を獲得した皆様、おめでとうございます！

また、たくさんの方に、緑の募金にご協力いただきました。ありがとうございました。



大きなかけ声で「じゃんけん、ぽーん！」



緑の募金のお礼に、オリジナルの木のバッジと手ぬぐいをお渡ししました。毎年1つずつコレクションしている方もいらっしゃいます！



ドローンに手を振り  
記念撮影しました。

お天気にも恵まれ、新緑の中で気持ちよく森林整備ができました。  
また来年もお待ちしています！

人が森を助ける。  
森が人を助ける。

